

気象解析用日本全国版都市粗度パラメータデータベース

1. 識別情報

名称	気象解析用日本全国版都市粗度パラメータデータベース
版	ver. 2.0
メタデータID	Urban_roughness20230727070353-DIAS20221121113753-ja

2. 問合せ先

2.1 データセットに関する問合せ先

名前	神田学
組織名	東京工業大学
住所	日本, 東京都, 目黒区, 大岡山2-12-1 I4-9
電話番号	03-5734-2768

2.2 プロジェクトに関する問合せ先

2.2.1 データ統合・解析システム

名前	DIAS事務局
組織名	国立研究開発法人海洋研究開発機構
住所	日本, 236-0001, 神奈川県, 横浜市, 金沢区昭和町3173番25
電子メールアドレス	dias-office@diasjp.net

3. ドキュメント作成者

名前	仲吉 信人
組織名	東京工業大学
電子メールアドレス	nakayoshi.m.aa@m.titech.ac.jp

4. データ作成者

名前	神田研究室
----	-------

5. ドキュメント作成年月日

2023-07-27

6. データ作成年月日

revision : 2014-03-31

7. データセット概要

7.1 序論

日本全土の都市幾何パラメータ。都市キャノピーの運動量粗度、修正粗度、天空率が3次メッシュ（0.01度）の空間解像度で整備されている。

7.2 トピックカテゴリ (IS019139)

climatologyMeteorologyAtmosphere

7.3 時間情報

開始日	2013-12-24
終了日	継続中

7.4 地理的範囲

北限緯度	45.52
西限経度	124.14
東限経度	153.98
南限緯度	24.34

7.5 グリッド

次元の名称	次元の分割数	次元の解像度
row	XX	0.01 (deg)
column	XX	0.01 (deg)

7.6 地理情報を識別する名称

7.7 キーワード

7.7.1 データセットに関連するキーワード

キーワードタイプ	キーワード	シソーラス名
theme	Land Surface > Topography > Surface Roughness	GCMD_science

7.7.2 プロジェクトに関連するキーワード

7.7.2.1 データ統合・解析システム

キーワードタイプ	キーワード	シソーラス名
theme	DIAS > Data Integration and Analysis System	No_Dictionary

7.8 データセットに関するオンライン情報

当該データセットのダウンロードアドレスです。 : https://dl.dropboxusercontent.com/u/76785677/Kanda_lab_urban_morphological_database.zip

当該データセットのDIASダウンロードアドレスです。 : <https://data.diasjp.net/dl/storages/filelist/dataset:213>

7.9 データ周辺情報

7.10 データ配布情報

配布識別名	配布バージョン	配布に関する説明
csv	ver2.0	longitude, latitude, meshID, value

8. 系譜情報

9. 品質等

10. 利用規約

10.1 データ提供者によるデータ利用規約

- (1)本データセットの内容の再配布を許可無く行ってはならない。
- (2)作成者は、本データセットを利用したことによって発生したいかなる損失、損害に対しても責任を負わない。
- (3)データを利用したい場合は、用途、所属を連絡すること。

kanda.m.aa@m.titech.ac.jp

教授

神田学

10.2 プロジェクトによるデータ利用規約

10.2.1 データ統合・解析システム

データ提供者がデータ利用規約を定めていない場合は、DIASサービス利用規約 (<https://diasjp.net/terms/>) およびDIASプライバシーポリシー (<https://diasjp.net/privacy/>) が適用されます。

DIASサービス利用規約とデータ提供者によるデータ利用規約に齟齬がある場合は、データ提供者によるデータ利用規約が優先して適用されます。

11. ライセンス

12. 謝辞の記載方法

12.1 データ提供者の指定による謝辞の記載方法

真壁拓也、仲吉信人、Alvin VARQUEZ、神田学：気象解析のための全日本都市幾何データベースの構築と世界への拡張可能性、水工学論文集，58，2013

12.2 プロジェクトの指定による謝辞の記載方法

12.2.1 データ統合・解析システム

このデータセットを利用して学会発表，論文発表，誌上发表，報告などを行う場合は，以下を参考に謝辞を記載すること。また，データ提供者が示す謝辞の記載方法がある場合は，それも併記すること。

“本研究では、[データ提供者の名称]が提供する[データセットの名称]を利用した。またこのデータセットは、文部科学省の補助事業により開発・運用されているデータ統合解析システム(DIAS)の下で、収集・提供されたものである。”

13. 参考文献